

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 1998年12月30日（当初設定日）から無期限です。 | |
| 運用方針 | 信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | ピクテ・ヨーロピアン・オープン・マザーファンド受益証券 |
| | マザーファンド | 欧州の主要国の株式 |
| 運用方法 | ①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州の主要国の株式に投資します。 ②MSCI欧州株価指数（円ベース）をベンチマークとします。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主な投資制限 | 当ファンド | ①株式への実質投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | マザーファンド | ①株式への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 | |



PICTET

1805

ピクテ・ ヨーロピアン・オープン

運用報告書(全体版)

第47期

決算日：2022年6月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「ピクテ・ヨーロピアン・オープン」は、2022年6月20日に第47期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

(2022年7月1日に「ピクテ投信投資顧問株式会社」より商号変更)

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配) | 基準価額 | | | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 投資信託証券組入比率 | 純資産額 |
|------------------|--------------|------|-------|--------|--------|------|--------|------------|------|
| | | 税込分配 | み金騰落 | 期中率 | 期騰落 | 期中率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 | |
| 43期(2020年6月22日) | 9,934 | 0 | △26.1 | 10,631 | △14.3 | 97.0 | 1.9 | 977 | |
| 44期(2020年12月21日) | 12,067 | 0 | 21.5 | 12,149 | 14.3 | 98.4 | 0.3 | 1,033 | |
| 45期(2021年6月21日) | 14,384 | 0 | 19.2 | 14,326 | 17.9 | 98.1 | — | 973 | |
| 46期(2021年12月20日) | 14,028 | 0 | △2.5 | 14,730 | 2.8 | 99.3 | — | 720 | |
| 47期(2022年6月20日) | 13,285 | 0 | △5.3 | 13,973 | △5.1 | 99.1 | — | 642 | |

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注2) ベンチマークはMSCI欧州株価指数を委託者が円換算し、設定日(1998年12月30日)を10,000として指数化したものです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 株式組入比率 |
|-------------|--------|------|--------|------|--------|
| | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | |
| (期首) | 円 | % | | % | % |
| 2021年12月20日 | 14,028 | — | 14,730 | — | 99.3 |
| 12月末 | 14,806 | 5.5 | 15,447 | 4.9 | 99.2 |
| 2022年1月末 | 14,248 | 1.6 | 14,650 | △0.5 | 99.2 |
| 2月末 | 13,898 | △0.9 | 14,416 | △2.1 | 98.5 |
| 3月末 | 14,561 | 3.8 | 15,350 | 4.2 | 98.1 |
| 4月末 | 13,900 | △0.9 | 14,719 | △0.1 | 98.3 |
| 5月末 | 14,425 | 2.8 | 15,093 | 2.5 | 99.5 |
| (期末) | | | | | |
| 2022年6月20日 | 13,285 | △5.3 | 13,973 | △5.1 | 99.1 |

(注1) 騰落率は期首比です。

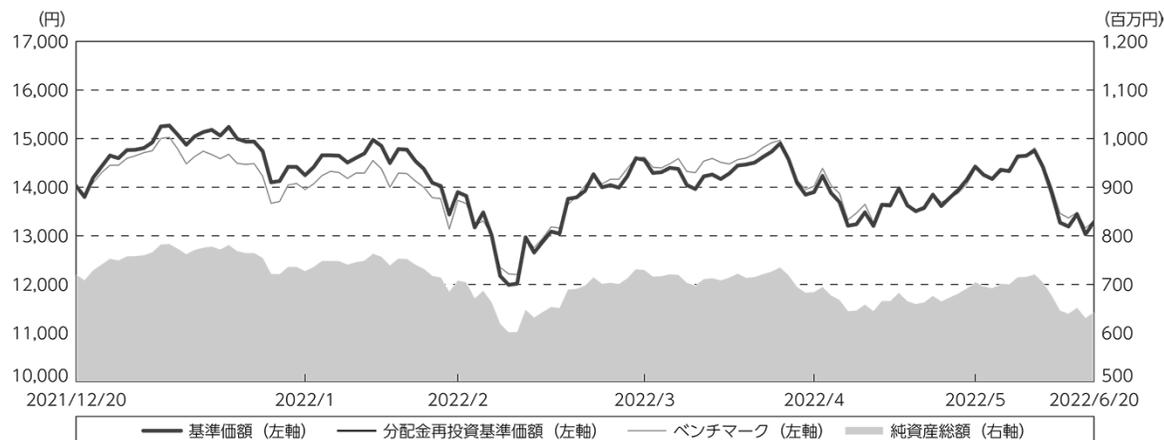
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注3) ベンチマークはMSCI欧州株価指数を委託者が円換算し、設定日(1998年12月30日)を10,000として指数化したものです。

MSCI欧州株価指数は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

基準価額等の推移

当期の基準価額は、5.3%の下落となりました。



期首：14,028円

期末：13,285円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 5.3% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2021年12月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注5) ベンチマークは、MSCI欧州株価指数を委託者が円換算したものです。

◇主な変動要因

下落↓・実質的に組入れている株式の価格が下落したこと
 上昇↑・円に対してユーロや英ポンドなどが上昇したこと

◇ベンチマークとの比較

当期の基準価額は5.3%の下落となり、ベンチマークの下落率5.1%を下回りました。

【主な差異要因】

マザーファンドにおいて、当期間において大きく下落したASMLホールディング(オランダ、半導体・半導体製造装置)やウィズエア・ホールディングス(スイス、運輸)などをベンチマークに対してオーバーウェイト(ベンチマークより高い投資比率)としていたことなどがマイナス要因として寄与しました。

投資環境

- ・ 欧州株式市場は、期首から2021年12月にかけては新型コロナウイルス経口治療薬の使用が許可されたことや、一部の欧米経済指標が改善したことなどが好感され上昇しました。2022年1月から2月にかけては、主要国中央銀行による早期の金融政策正常化に対する警戒感やウクライナ情勢を巡る緊張感の高まりなどから下落しましたが、3月には原油価格上昇の一服やロシア・ウクライナ間の停戦交渉の進展期待などから反発しました。4月から5月上旬にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締めペースの加速を睨んだ米金利上昇、ロシア・ウクライナ戦争の長期化、中国の景気減速懸念などが嫌気され下落しました。その後もインフレ抑制への不透明感が燻る中でFRBや欧州中央銀行（ECB）が金融引き締め姿勢をより一層強めたことから、期末にかけて軟調に推移し、期を通じてみれば欧州株式市場は下落しました。
- ・ 為替市場では、ECBが段階的に資産購入政策を縮小する方針を示したことなどから期首から2022年1月中旬まで円安・ユーロ高となりました。その後は3月上旬にかけて、ロシアによるウクライナ侵攻などから円高・ユーロ安となりました。3月中旬以降は、ECBがインフレ対応を重視する姿勢を示し、6月には量的金融緩和策の終了と利上げ方針を示した一方、日本銀行は緩和的な金融政策の姿勢を維持したことで日欧の金融政策の違いが意識され、期末にかけて円安・ユーロ高が進行しました。期を通じてみると、円安・ユーロ高が進行しました。

組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ヨーロッパン・オープン・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンドの組入状況>

欧州主要国の株式に投資を行いました。

◇国別組入比率

【期首】

| 国名 | 組入比率 |
|--------|-------|
| 英国 | 25.1% |
| スイス | 18.9% |
| フランス | 18.5% |
| オランダ | 15.0% |
| ドイツ | 6.9% |
| イタリア | 6.9% |
| ベルギー | 3.1% |
| スペイン | 2.8% |
| スウェーデン | 2.5% |

【期末】

| 国名 | 組入比率 |
|--------|-------|
| 英国 | 24.0% |
| スイス | 18.8% |
| フランス | 17.7% |
| オランダ | 15.4% |
| イタリア | 7.4% |
| ドイツ | 5.1% |
| スペイン | 4.5% |
| ベルギー | 2.7% |
| スウェーデン | 2.5% |
| オーストリア | 1.5% |

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

◇業種別組入比率

【期首】

| 業種名 | 組入比率 |
|----------------|-------|
| 金融 | 21.0% |
| 資本財・サービス | 19.9% |
| 一般消費財・サービス | 19.0% |
| 情報技術 | 11.0% |
| 生活必需品 | 10.3% |
| コミュニケーション・サービス | 8.2% |
| ヘルスケア | 5.0% |
| エネルギー | 3.2% |
| 公益事業 | 2.1% |

【期末】

| 業種名 | 組入比率 |
|----------------|-------|
| 金融 | 23.9% |
| 資本財・サービス | 20.5% |
| 一般消費財・サービス | 19.4% |
| 情報技術 | 9.7% |
| 生活必需品 | 8.4% |
| ヘルスケア | 7.4% |
| コミュニケーション・サービス | 6.7% |
| エネルギー | 3.8% |

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

◇組入上位10銘柄

【期首】

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|----------------|------|----------------|------|
| ネスレ | スイス | 食品 | 7.1% |
| ASMLホールディング | オランダ | 半導体・半導体製造装置 | 4.4% |
| SAP | ドイツ | ソフトウェア | 4.1% |
| インフォーマ | 英国 | メディア | 4.1% |
| フィナンシエール・リシュモン | スイス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.8% |
| グラクソ・スミスクライン | 英国 | 医薬品 | 3.8% |
| ジュリアス・ベア・グループ | スイス | 資本市場 | 3.7% |
| プロサス | オランダ | インターネット販売・通信販売 | 3.4% |
| エシロールルックスオティカ | フランス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.4% |
| ロイヤル・ダッチ・シェル | 英国 | 石油・ガス・消耗燃料 | 3.2% |

【期末】

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|---------------|------|----------------|------|
| ネスレ | スイス | 食品 | 5.6% |
| ASMLホールディング | オランダ | 半導体・半導体製造装置 | 4.0% |
| シェル | 英国 | 石油・ガス・消耗燃料 | 3.8% |
| サフラン | フランス | 航空宇宙・防衛 | 3.6% |
| エシロールルックスオティカ | フランス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.5% |
| SAP | ドイツ | ソフトウェア | 3.5% |
| コンパス・グループ | 英国 | ホテル・レストラン・レジャー | 3.5% |
| インフォーマ | 英国 | メディア | 3.5% |
| ジュリアス・ベア・グループ | スイス | 資本市場 | 3.4% |
| エクソール | イタリア | 各種金融サービス | 3.4% |

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

収益分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第47期 |
|-----------|----------------------------|
| | 2021年12月21日～ 2022年6月20日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 10,416 |

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(1) 投資環境

現在世界的なインフレ高進は続いており、インフレを沈静化させるために欧米をはじめとする各国の中央銀行は今後も積極的に利上げを行っていく姿勢を示しています。金融政策の引き締め姿勢強化が株式市場に与える影響への警戒感が高まっていることに加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、欧州におけるスタグフレーションのリスク(物価上昇と景気後退が同時に起こるリスク)を引き続き高めています。このように困難な局面において、当ファンドでは、強固なビジネスモデルとキャッシュ創出力を有し、魅力的なバリュエーション(投資価値評価)水準で取引されている優良銘柄を発掘する方針です。

(2) 投資方針

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州主要国の株式に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

<マザーファンド>

欧州主要国の株式に投資を行ってまいります。当運用では今後起こりうる市場イベントを予測するのではなく、キャッシュフローの生成能力に優れ、長期的に有益な投資案件を有し、割安な水準で取引されている優良銘柄を発掘する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年12月21日～2022年6月20日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|--------|-----------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 137 | 0.960 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (67) | (0.466) | ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 |
| (販 売 会 社) | (63) | (0.439) | ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 |
| (受 託 会 社) | (8) | (0.055) | ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 1 | 0.009 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (1) | (0.009) | ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 3 | 0.020 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (3) | (0.020) | ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) そ の 他 費 用 | 22 | 0.156 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (19) | (0.129) | ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (4) | (0.026) | ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) | ・その他は、信託事務の処理に要する諸費用 |
| 合 計 | 163 | 1.145 | |
| 期中の平均基準価額は、14,306円です。 | | | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

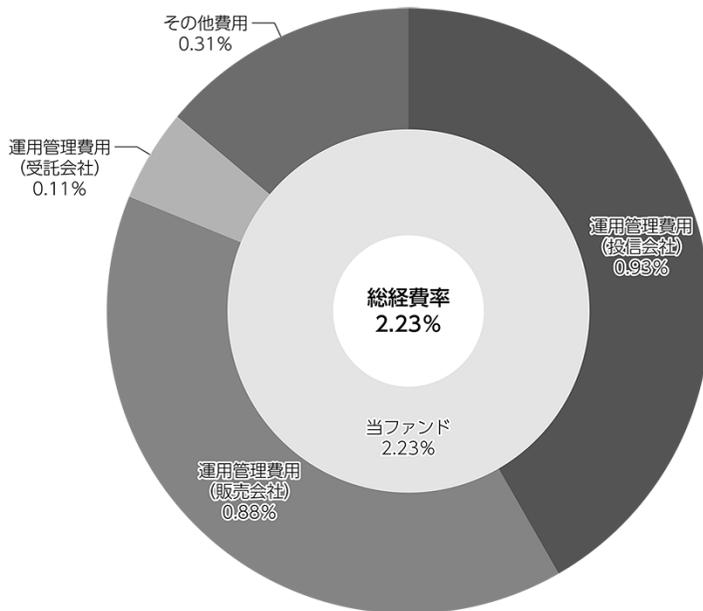
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.23%です。



(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月21日～2022年6月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|------------------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド | 千口 5,578 | 千円 6,500 | 千口 46,524 | 千円 53,280 |

(注) 単位未満は切り捨てています。

○株式売買比率

(2021年12月21日～2022年6月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------------|------------------------|--|
| | ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド | |
| (a) 期中の株式売買金額 | 265,013千円 | |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 710,352千円 | |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.37 | |

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月21日～2022年6月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2021年12月21日～2022年6月20日)

該当事項はございません。

○特定資産の価格等の調査

(2021年12月21日～2022年6月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年6月20日現在)

親投資信託残高

| 銘 | 柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|------------------------|---|---------|---------|---------|
| | | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 |
| ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド | | 605,391 | 564,445 | 639,573 |

(注) 単位未満は切り捨てています。

○投資信託財産の構成

(2022年6月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|------------------------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド | 639,573 | 98.2 |
| コール・ローン等、その他 | 11,657 | 1.8 |
| 投資信託財産総額 | 651,230 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(638,777千円)の投資信託財産総額(641,031千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=135.25円、1英ポンド=165.36円、1ユーロ=141.89円、1スイスフラン=139.46円、1ノルウェークローネ=13.54円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年6月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 651,230,652 |
| コール・ローン等 | 10,317,320 |
| ピカテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド(評価額) | 639,573,332 |
| 未収入金 | 1,340,000 |
| (B) 負債 | 8,367,097 |
| 未払解約金 | 1,362,765 |
| 未払信託報酬 | 6,814,053 |
| 未払利息 | 28 |
| その他未払費用 | 190,251 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 642,863,555 |
| 元本 | 483,908,563 |
| 次期繰越損益金 | 158,954,992 |
| (D) 受益権総口数 | 483,908,563口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 13,285円 |

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>
(貸借対照表関係)

| | |
|----------------|--------------|
| (注1) 期首元本額 | 513,364,852円 |
| 期中追加設定元本額 | 5,527,754円 |
| 期中一部解約元本額 | 34,984,043円 |
| (注2) 1口当たり純資産額 | 1.3285円 |

○損益の状況 (2021年12月21日～2022年6月20日)

| 項 目 | 当 期 |
|--------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 1,349 |
| 支払利息 | △ 1,349 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 28,841,036 |
| 売買益 | 2,555,456 |
| 売買損 | △ 31,396,492 |
| (C) 信託報酬等 | △ 7,004,441 |
| (D) 当期繰越損益金(A+B+C) | △ 35,846,826 |
| (E) 前期繰越損益金 | 11,456,542 |
| (F) 追加信託差損益金 | 183,345,276 |
| (配当等相当額) | (475,607,070) |
| (売買損益相当額) | (△292,261,794) |
| (G) 計(D+E+F) | 158,954,992 |
| (H) 収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 158,954,992 |
| 追加信託差損益金 | 183,345,276 |
| (配当等相当額) | (475,607,070) |
| (売買損益相当額) | (△292,261,794) |
| 分配準備積立金 | 28,481,165 |
| 繰越損益金 | △ 52,871,449 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(475,607,070円)および分配準備積立金(28,481,165円)より分配対象収益は504,088,235円(10,000口当たり10,416円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注5) 主要投資対象であるマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.60%以内の額

○お知らせ

該当事項はございません。

ピクテ・ヨーロピアン・オープン・マザーファンド

運用状況のご報告

第16期（決算日：2022年6月20日）
（計算期間：2021年6月22日～2022年6月20日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ・ヨーロピアン・オープン・マザーファンド」は、「ピクテ・ヨーロピアン・オープン」および「ピクテ欧州株式ファンド（適格機関投資家専用）」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|-------------|---|
| 運 用 方 針 | 信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。 |
| 主 要 投 資 対 象 | 欧州の主要国の株式 |
| 主 な 投 資 制 限 | 株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 株式 組入比率 | 投資信託 組入比率 | 純資産 総額 |
|-----------------|---------|--------|---------|--------|------------|--------------|-----------|
| | 円 騰落 | 率 中 | 円 騰落 | 率 中 | | | |
| 12期(2018年6月20日) | 11,302 | 9.9 | 7,876 | △0.5 | 96.8 | 2.8 | 1,924 |
| 13期(2019年6月20日) | 9,880 | △12.6 | 7,517 | △4.6 | 96.6 | 2.7 | 1,329 |
| 14期(2020年6月22日) | 8,144 | △17.6 | 6,964 | △7.4 | 97.4 | 1.9 | 973 |
| 15期(2021年6月21日) | 12,017 | 47.6 | 9,384 | 34.7 | 98.6 | — | 968 |
| 16期(2022年6月20日) | 11,331 | △5.7 | 9,153 | △2.5 | 99.7 | — | 639 |

(注) ベンチマークはMSCI欧州株価指数を委託者が円換算し、設定日(2007年2月16日)を10,000として指数化したものです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 株式 組入比率 | 投資信託 組入比率 | 純資産 総額 |
|--------------------|---------|--------|---------|--------|------------|--------------|-----------|
| | 円 騰落 | 率 中 | 円 騰落 | 率 中 | | | |
| (期首) 2021年6月21日 | 12,017 | — | 9,384 | — | 98.6 | — | — |
| 6月末 | 12,020 | 0.0 | 9,540 | 1.7 | 98.6 | — | — |
| 7月末 | 11,939 | △0.6 | 9,570 | 2.0 | 99.7 | — | — |
| 8月末 | 12,067 | 0.4 | 9,692 | 3.3 | 98.4 | — | — |
| 9月末 | 12,015 | △0.0 | 9,385 | 0.0 | 99.2 | — | — |
| 10月末 | 12,677 | 5.5 | 10,003 | 6.6 | 94.6 | — | — |
| 11月末 | 11,795 | △1.8 | 9,504 | 1.3 | 97.5 | — | — |
| 12月末 | 12,505 | 4.1 | 10,118 | 7.8 | 99.5 | — | — |
| 2022年1月末 | 12,054 | 0.3 | 9,596 | 2.3 | 99.3 | — | — |
| 2月末 | 11,776 | △2.0 | 9,443 | 0.6 | 98.5 | — | — |
| 3月末 | 12,360 | 2.9 | 10,055 | 7.2 | 98.1 | — | — |
| 4月末 | 11,818 | △1.7 | 9,641 | 2.7 | 98.0 | — | — |
| 5月末 | 12,284 | 2.2 | 9,887 | 5.4 | 99.1 | — | — |
| (期末) 2022年6月20日 | 11,331 | △5.7 | 9,153 | △2.5 | 99.7 | — | — |

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマークはMSCI欧州株価指数を委託者が円換算し、設定日(2007年2月16日)を10,000として指数化したものです。

MSCI欧州株価指数は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

基準価額等の推移

当期の基準価額は、5.7%の下落となりました。



◇主な変動要因

下落↓・組入れている株式の価格が下落したこと
 上昇↑・円に対してユーロや英ポンドなどが上昇したこと

◇ベンチマークとの比較

当期の基準価額は5.7%の下落となり、ベンチマークの下落率2.5%を下回りました。

【主な差異要因】

当期前半は、大きく下落したワールド・ライン（フランス、ソフトウェア・サービス）やサガ（英国、保険）などをベンチマークに対してオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資比率）としていたことなどがマイナス要因として寄与しました。当期後半は、大きく下落したASMLホールディング（オランダ、半導体・半導体製造装置）やウィズエアー・ホールディングス（スイス、運輸）などをベンチマークに対してオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資比率）としていたことなどがマイナス要因として寄与しました。

- ・ 欧州株式市場は、期首から2021年8月にかけて、欧州中央銀行（ECB）が当面の緩和的金融政策を維持する方針を示したことなどが好感され上昇しました。9月には中国不動産開発大手の債務不履行（デフォルト）などに対する懸念から下落する局面もみられましたが、10月から11月中旬にかけて発表された企業決算が概ね良好な内容だったことから堅調な展開となりました。その後は、新型コロナウイルスのオミクロン株の出現に伴って経済の先行き不透明感が高まり株価は大きく調整しました。12月にかけては新型コロナウイルス経口治療薬の使用が許可されたことや、一部の欧米経済指標が改善したことなどが好感され上昇しました。2022年1月から2月にかけては、主要国中央銀行による早期の金融政策正常化に対する警戒感やウクライナ情勢を巡る緊張感の高まりなどから下落しましたが、3月には原油価格上昇の一服やロシア・ウクライナ間の停戦交渉の進展期待などから反発しました。4月から5月上旬にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締めペースの加速を睨んだ米金利上昇、ロシア・ウクライナ戦争の長期化、中国の景気減速懸念などが嫌気され下落しました。その後もインフレ抑制への不透明感が燻る中でFRBやECBが金融引き締め姿勢をより一層強めたことから、期末にかけて軟調に推移し、期を通じてみれば欧州株式市場は下落しました。
- ・ 為替市場では、期首から8月中旬にかけて、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大への懸念が高まったことや、ECBが戦略検証で物価目標を「2%未満でその近辺」から「2%」に変え、物価が基調として本格的に上がるまで、金融緩和を維持する姿勢を示したことなどを背景にユーロ安・円高となりました。8月下旬から10月中旬にかけては、ユーロ圏の9月のPMI景況感指数が回復ペースは減速するも依然高水準であったことや、ユーロ圏のインフレ懸念を背景にECBが利上げ時期を前倒しするとの観測が強まり、円安・ユーロ高が進行しました。その後は、ECB政策理事会後の会見でラガルド総裁がインフレ懸念は一時的と説明したことや欧州の金利が低下したこと、新型コロナウイルスのオミクロン株に対する警戒感が強まったことなどから、ユーロ安・円高が進行しました。ECBが段階的に資産購入政策を縮小する方針を示したことなどから12月から2022年1月中旬まで円安・ユーロ高となりました。その後は3月上旬にかけて、ロシアによるウクライナ侵攻などから円高・ユーロ安となりました。3月中旬以降は、ECBがインフレ対応を重視する姿勢を示し、6月には量的金融緩和策の終了と利上げ方針を示した一方、日本銀行は緩和的な金融政策の姿勢を維持したことで日欧の金融政策の違いが意識され、期末にかけて円安・ユーロ高が進行しました。

組入状況

欧州主要国の株式に投資を行いました。

◇国別組入比率

【期首】

| 国名 | 組入比率 |
|--------|-------|
| 英国 | 25.6% |
| フランス | 21.4% |
| スイス | 16.0% |
| オランダ | 13.9% |
| イタリア | 6.5% |
| ドイツ | 5.5% |
| スペイン | 4.5% |
| ベルギー | 2.9% |
| スウェーデン | 2.4% |

【期末】

| 国名 | 組入比率 |
|--------|-------|
| 英国 | 24.0% |
| スイス | 18.8% |
| フランス | 17.7% |
| オランダ | 15.4% |
| イタリア | 7.4% |
| ドイツ | 5.1% |
| スペイン | 4.5% |
| ベルギー | 2.7% |
| スウェーデン | 2.5% |
| オーストリア | 1.5% |

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◇業種別組入比率

【期首】

| 業種名 | 組入比率 |
|----------------|-------|
| 金融 | 21.3% |
| 一般消費財・サービス | 19.2% |
| 資本財・サービス | 17.7% |
| 情報技術 | 10.3% |
| 生活必需品 | 9.4% |
| コミュニケーション・サービス | 8.9% |
| ヘルスケア | 5.0% |
| エネルギー | 3.6% |
| 公益事業 | 1.8% |
| 素材 | 1.4% |

【期末】

| 業種名 | 組入比率 |
|----------------|-------|
| 金融 | 23.9% |
| 資本財・サービス | 20.5% |
| 一般消費財・サービス | 19.4% |
| 情報技術 | 9.7% |
| 生活必需品 | 8.4% |
| ヘルスケア | 7.4% |
| コミュニケーション・サービス | 6.7% |
| エネルギー | 3.8% |

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

◇組入上位10銘柄

【期首】

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|----------------|------|----------------|------|
| ネスレ | スイス | 食品 | 6.5% |
| ASMLホールディング | オランダ | 半導体・半導体製造装置 | 4.2% |
| インフォーマ | 英国 | メディア | 3.8% |
| フィナンシエール・リシュモン | スイス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.7% |
| ロイヤル・ダッチ・シェル | 英国 | 石油・ガス・消耗燃料 | 3.6% |
| SAP | ドイツ | ソフトウェア | 3.5% |
| ジュリアス・ベア・グループ | スイス | 資本市場 | 3.4% |
| プロサス | オランダ | インターネット販売・通信販売 | 3.4% |
| グラクソ・スミスクライン | 英国 | 医薬品 | 3.4% |
| エシロールルックスオティカ | フランス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.2% |

【期末】

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|---------------|------|----------------|------|
| ネスレ | スイス | 食品 | 5.6% |
| ASMLホールディング | オランダ | 半導体・半導体製造装置 | 4.0% |
| シェル | 英国 | 石油・ガス・消耗燃料 | 3.8% |
| サフラン | フランス | 航空宇宙・防衛 | 3.6% |
| エシロールルックスオティカ | フランス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.5% |
| SAP | ドイツ | ソフトウェア | 3.5% |
| コンパス・グループ | 英国 | ホテル・レストラン・レジャー | 3.5% |
| インフォーマ | 英国 | メディア | 3.5% |
| ジュリアス・ベア・グループ | スイス | 資本市場 | 3.4% |
| エクソール | イタリア | 各種金融サービス | 3.4% |

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

○今後の運用方針

(1) 投資環境

現在世界的なインフレ高進は続いており、インフレを沈静化させるために欧米をはじめとする各国の中央銀行は今後も積極的に利上げを行っていく姿勢を示しています。金融政策の引き締め姿勢強化が株式市場に与える影響への警戒感が高まっていることに加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、欧州におけるスタグフレーションのリスク（物価上昇と景気後退が同時に起こるリスク）を引き続き高めています。このように困難な局面において、当ファンドでは、強固なビジネスモデルとキャッシュ創出力を有し、魅力的なバリュエーション（投資価値評価）水準で取引されている優良銘柄を発掘する方針です。

(2) 投資方針

欧州主要国の株式に投資を行ってまいります。当運用では今後起こりうる市場イベントを予測するのではなく、キャッシュフローの生成能力に優れ、長期的に有益な投資案件を有し、割安な水準で取引されている優良銘柄を発掘する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年6月22日～2022年6月20日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---------------------------------------|--------------------|-----------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 円 2 (2) | % 0.016 (0.016) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) | 3 (3) | 0.028 (0.028) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 46 (23) (24) | 0.384 (0.188) (0.196) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託事務の処理に要する諸費用 |
| 合 計 | 51 | 0.428 | |
| 期中の平均基準価額は、12,109円です。 | | | |

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年6月22日～2022年6月20日)

株式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|---|--------|-----------------|----------------------|-------------|------------------------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 外 | アメリカ | 百株 — (2) | 千米ドル — (8) | 百株 15 | 千米ドル 21 |
| | イギリス | 93 (16) | 千英ポンド 98 (27) | 585 (—) | 千英ポンド 827 (5) |
| | ユーロ | | 千ユーロ | | 千ユーロ |
| 国 | ドイツ | 14 | 141 | 19 | 194 |
| | イタリア | 36 | 43 | 259 | 95 |
| | フランス | 84 (4) | 374 (11) | 749 | 844 |
| | オランダ | 52 (45) | 189 (1) | 109 (—) | 555 (0.47586) |
| | スペイン | 29 | 76 | 233 | 117 |
| | ベルギー | 5 | 30 | 14 | 81 |
| | オーストリア | 15 | 71 | — | — |
| | フィンランド | — | — | 59 | 59 |
| | スイス | 21 | 千スイスフラン 350 | 56 (—) | 千スイスフラン 552 (3) |

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

○株式売買比率

(2021年6月22日～2022年6月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|-----------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 641,331千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 790,984千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.81 |

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2021年6月22日～2022年6月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○特定資産の価格等の調査

(2021年6月22日～2022年6月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年6月20日現在)

外国株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | | 業 種 等 | |
|------------------------------|--------------|-------|-------|--------|------------------------|
| | | 株 数 | 株 数 | | 評 価 額 |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 |
| (アメリカ…米国店頭市場) | 百株 | 百株 | 千米ドル | 千円 | |
| GRIFOLS SA-ADR | 77 | 65 | 75 | 10,243 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 | 77 | 65 | 75 | 10,243 |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 1 | 1 | — | <1.6%> |
| (イギリス…英国市場) | | | 千英ポンド | | |
| PRUDENTIAL PLC | 111 | 109 | 104 | 17,226 | 保険 |
| GSK PLC | 150 | 70 | 118 | 19,629 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| WEIR GROUP PLC/THE | 65 | 50 | 76 | 12,719 | 資本財 |
| SHELL PLC | 169 | — | — | — | エネルギー |
| BUNZL PLC | 76 | 19 | 50 | 8,376 | 資本財 |
| COMPASS GROUP PLC | 122 | 80 | 135 | 22,410 | 消費者サービス |
| INTERCONTINENTAL HOTELS GROU | 35 | 24 | 103 | 17,043 | 消費者サービス |
| INFORMA PLC | 457 | 255 | 135 | 22,327 | メディア・娯楽 |
| SAGA PLC | 257 | 284 | 57 | 9,472 | 保険 |
| WIZZ AIR HOLDINGS PLC | 29 | 35 | 71 | 11,767 | 運輸 |
| SHELL PLC-NEW | — | 71 | 145 | 24,112 | エネルギー |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 | 1,476 | 1,002 | 998 | 165,086 |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 10 | 10 | — | <25.8%> |
| (ユーロ…ドイツ) | | | 千ユーロ | | |
| SAP SE | 21 | 17 | 158 | 22,470 | ソフトウェア・サービス |
| KNORR-BREMSE AG | 13 | 12 | 71 | 10,083 | 資本財 |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 | 35 | 30 | 229 | 32,553 |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 2 | 2 | — | <5.1%> |
| (ユーロ…イタリア) | | | | | |
| INTESA SANPAOLO | 661 | 440 | 79 | 11,261 | 銀行 |
| BREMBO SPA | 104 | 102 | 99 | 14,122 | 自動車・自動車部品 |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 | 765 | 542 | 178 | 25,384 |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 2 | 2 | — | <4.0%> |
| (ユーロ…フランス) | | | | | |
| COMPAGNIE DE L'ODET SA | — | 0.77 | 85 | 12,127 | 運輸 |
| BOLLORE SE | 524 | — | — | — | メディア・娯楽 |
| VIVENDI SE | 51 | — | — | — | メディア・娯楽 |
| EURAZEO SE | — | 10 | 63 | 8,988 | 各種金融 |
| ESSILORLUXOTTICA | 16 | 11 | 159 | 22,642 | 耐久消費財・アパレル |
| SAFRAN SA | 17 | 17 | 160 | 22,837 | 資本財 |
| VINCI SA | 19 | 12 | 108 | 15,355 | 資本財 |
| RUBIS | 33 | — | — | — | 公益事業 |
| WORLDLINE SA | 24 | 28 | 99 | 14,119 | ソフトウェア・サービス |
| ELIS SA -W/I | 150 | 95 | 121 | 17,193 | 商業・専門サービス |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 | 836 | 176 | 798 | 113,265 |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 8 | 7 | — | <17.7%> |
| (ユーロ…オランダ) | | | | | |
| ASML HOLDING NV | 5 | 4 | 180 | 25,619 | 半導体・半導体製造装置 |
| OCI NV | 50 | — | — | — | 素材 |
| ASR NEDERLAND NV | 49 | 26 | 100 | 14,324 | 保険 |
| PROSUS | 29 | 24 | 119 | 17,019 | 小売 |
| EURONEXT NV | 21 | 20 | 152 | 21,610 | 各種金融 |
| UNIVERSAL MUSIC GROUP NV | — | 76 | 142 | 20,229 | メディア・娯楽 |

| 銘柄 | 株数 | 当期 | | 業種等 | |
|-------------------------------|------------------|-------|---------|--------|------------------------|
| | | 株数 | 評価額 | | |
| (ユーロ…オランダ) | 百株 | 百株 | 千ユーロ | 千円 | |
| EXOR NV | 31 | 25 | 153 | 21,772 | |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 188 | 176 | 849 | 120,575 |
| | | 6 | 6 | — | <18.8%> |
| (ユーロ…スペイン) | | | | | |
| BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA | 198 | — | — | — | 銀行 |
| FLUIDRA SA | — | 29 | 63 | 8,957 | 資本財 |
| GESTAMP AUTOMOCION SA | 240 | 205 | 66 | 9,426 | 自動車・自動車部品 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 438 | 235 | 129 | 18,383 |
| | | 2 | 2 | — | <2.9%> |
| (ユーロ…ベルギー) | | | | | |
| ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV | 33 | 24 | 122 | 17,424 | 食品・飲料・タバコ |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 33 | 24 | 122 | 17,424 |
| | | 1 | 1 | — | <2.7%> |
| (ユーロ…オーストリア) | | | | | |
| BAWAG GROUP AG | — | 15 | 69 | 9,794 | 銀行 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | — | 15 | 69 | 9,794 |
| | | — | 1 | — | <1.5%> |
| (ユーロ…フィンランド) | | | | | |
| NORDEA BANK ABP | 190 | 130 | 114 | 16,294 | 銀行 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 190 | 130 | 114 | 16,294 |
| | | 1 | 1 | — | <2.5%> |
| ユーロ計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 2,489 | 1,332 | 2,492 | 353,677 |
| | | 22 | 22 | — | <55.3%> |
| (スイス…スイス市場) | | | 千スイスフラン | | |
| NESTLE SA-REGISTERED | 45 | 24 | 258 | 36,006 | 食品・飲料・タバコ |
| ROCHE HOLDING AG-GENUSSSCHEIN | — | 4 | 124 | 17,429 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| SCHINDLER HOLDING AG-REG | — | 5 | 84 | 11,826 | 資本財 |
| JULIUS BAER GROUP LTD | 46 | 34 | 156 | 21,860 | 各種金融 |
| CIE FINANCIERE RICHEMO-A REG | 26 | 16 | 153 | 21,357 | 耐久消費財・アパレル |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 118 | 84 | 777 | 108,480 |
| | | 3 | 5 | — | <17.0%> |
| 合計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 4,163 | 2,483 | — | 637,487 |
| | | 36 | 38 | — | <99.7%> |

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

(注4) 一印は組入れがありません。

○投資信託財産の構成

(2022年6月20日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|---------------|-----------|
| | 評価額 | 比率 |
| 株式 | 千円 637,487 | % 99.4 |
| コール・ローン等、その他 | 3,544 | 0.6 |
| 投資信託財産総額 | 641,031 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末における外貨建純資産(638,777千円)の投資信託財産総額(641,031千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=135.25円、1英ポンド=165.36円、1ユーロ=141.89円、1スイスフラン=139.46円、1ノルウェークローネ=13.54円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年6月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 641,031,181 |
| コール・ローン等 | 2,479,744 |
| 株式(評価額) | 637,487,932 |
| 未収配当金 | 1,063,505 |
| (B) 負債 | 1,340,006 |
| 未払解約金 | 1,340,000 |
| 未払利息 | 6 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 639,691,175 |
| 元本 | 564,530,772 |
| 次期繰越損益金 | 75,160,403 |
| (D) 受益権総口数 | 564,530,772口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 11,331円 |

<注記事項>

(貸借対照表関係)

| | |
|------------------------|--------------|
| (注1) 期首元本額 | 805,879,559円 |
| 期中追加設定元本額 | 8,225,624円 |
| 期中一部解約元本額 | 249,574,411円 |
| (注2) 1口当たり純資産額 | 1.1331円 |
| (注3) 期末における元本の内訳 | |
| ピクテ・ヨーロピアン・オープン | 564,445,620円 |
| ピクテ欧州株式ファンド(適格機関投資家専用) | 85,152円 |

○損益の状況 (2021年6月22日～2022年6月20日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 14,995,414 |
| 受取配当金 | 14,998,993 |
| その他収益金 | 159 |
| 支払利息 | △ 3,738 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 47,998,574 |
| 売買益 | 126,131,500 |
| 売買損 | △174,130,074 |
| (C) 保管費用等 | △ 3,231,685 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 36,234,845 |
| (E) 前期繰越損益金 | 162,546,961 |
| (F) 追加信託差損益金 | 1,444,376 |
| (G) 解約差損益金 | △ 52,596,089 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 75,160,403 |
| 次期繰越損益金(H) | 75,160,403 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。